

5島18事業所で就業体験



農家を訪問し、島の農業について学ぶ島キャン生ら＝16日、知名町

春の島キャン始まる

【沖永良部総局】(株)カゲハシスカイソリューションズ(本社・東京都)の島おこしインターンシップ(就業体験)事業「2015年春の島キャン」が奄美5島で始まっている。今春は2～3月の間に、58人が来島予定で、島ならではの仕事や出会いに多くを学んでいる。

沖永良部は島の勉強会

「島キャン」は、島の島おこしと、学生などの「都会では得がたい経験」を同時に実現しようと昨夏から始めた。奄美では今春、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島で18事業所(23日現在)が受け入れる。沖永良部島では3月までに農園や役場、観光連盟など9事業所で24人が研修する。休日の22日は島への理解を深めてもらおうと、現在来島している学生10人を集めて勉強会を開催。沖永良部島エコツアーズの山下芳也代表が景勝地や史跡などを案内した。23日は恵みの雨となり、農園で研修している5人は、農家や学校、新聞社、県沖永良部事

務所などを訪問。地域活性化の取り組みやその課題などを学んだ。これまでの研修を振り返り、平田幹樹さん(21)「神奈川県」は「陸から見えるカメラやクジラ、きれいな星空など、当たり前にあることがすごい。島の農家では、台風が安定した生活を奪うくらい大きい存在であることを学んだ」、長谷川智咲さん(20)「東京都」

は「来る前まではのんびりした印象だったが、農業への意気込みがすごい。花一本育てるにしても、きめ細かな作業、労力がかかっているで大変だと思った」と話した。